

利根川水系取水制限に伴う水稲の技術対策について

平成28年6月14日
埼玉県農林部

利根川上流8ダムの貯水量は平年に比べ非常に少ない状況となっており、利根川水系では、6月16日から10%の取水制限が実施されます。

これに伴う水稲の技術対策資料を作成しましたので、参考にしてください。

なお、今後とも技術対策資料を提供しますので、気象情報等に注意してください。

| 作 型 | 技 術 対 策 |
|---------------------|---|
| 早期栽培 (~5月上旬植え) | 1 中干し後、水持ちが悪くなりやすいほ場では、軽めの中干しとする。 2 中干し後、出穂期前7日までは、間断灌水を徹底する。 |
| 早植栽培 (5月中下旬植え) | 1 有効分げつが決まるまで(田植え後5週間程度)は浅水で管理する。 2 有効分げつが決まったら速やかに中干しを開始する。 3 中干し後、水持ちが悪くなりやすいほ場では、軽めの中干しとする。 4 中干し後、出穂期前7日までは、間断灌水を徹底する。 |
| 普通栽培 (6月上旬植え) | 1 代かきは田からあふれるほどの無駄な入水をせず、ヒタヒタ程度とし丁寧に行う。 2 用水不足で代かきが出来ず、田植えが遅れる場合は、次の苗管理を実施する。 ① 肥切れの場合は、苗箱あたり窒素成分で0.5g程度の追肥を行う。 ② 伸びすぎの恐れのある場合、葉がよれない程度に灌水を控える。 3 田植え後の除草剤処理では、深さ5cmの湛水とし、水尻をしっかりと止めて漏水を防ぐ。処理後1週間を目標にそのままの状態を維持し、途中、水が切れ田面がでるような時だけ静かに補給する。 |
| 麦あと栽培 (6月下旬植え以降) | 1 畦畔、水尻からの漏水を抑えるため、補修・点検を行う。 2 代かきは田からあふれるほどの無駄な入水をせず、ヒタヒタ程度とし丁寧に行う。 3 用水不足で代かきが出来ず、田植えが遅れる場合は、次の苗管理を実施する。 ① 肥切れの場合は、苗箱あたり窒素成分で0.5g程度の追肥を行う。 ② 伸びすぎの恐れのある場合、葉がよれない程度に灌水を控える。 ③ 苗箱を置く間隔を広げて風通しを良くするなど、高温障害の発生防止に努める。 4 田植え後の除草剤処理では、深さ5cmの湛水とし、水尻をしっかりと止めて漏水を防ぐ。処理後1週間を目標にそのままの状態を維持し、途中、水が切れ田面がでるような時だけ静かに補給する。 |

詳しくは、農林振興センター農業支援部に御相談ください。